

# 堂谷津の里 自然だより

# 2018年 6月



2018. 6. 1

稲は順調に生育、初夏のさわやかな風が谷津を渡ります。ヨシ原から、今年もまたオオヨシキリの元気な声が聞こえてきます。「卵の花匂う垣根にホトトギス早も来鳴きて♪♪・・・」、里山は夏へ向けて準備が始まりました。まもなく訪れる梅雨、田んぼにとって「恵みの雨」となりますように・・・。



オオヨシキリ

「ギョギョシ ギョギョシ」  
今年もヨシ原にきました。



キタテハ



ヒメウラナミジャノメ



ノシメトンボ



シオカラトンボ



コジャノメ



ベニシジミ



オオシオカラトンボ



ヤマサナエ



ホタルブクロ



ハエドクソウ



オカトラノオ



オオカモメツル



ドクダミ



ムラサキシキブ (花)

### <季節メモ>

見つけたよ これなあに??



エゴノキの揺籃



エゴツルクビオトシブミ

私が作りました

初夏になると、エゴツルクビオトシブミの雌はエゴノキの葉で「揺籃・ようらん」を作ります。小さな体で、大きな葉を折ったり切ったり、まるで職人技です。揺籃は子どものための食料兼隠れ家。中に卵を産み、幼虫は巻かれた木の葉を食べながら成長します。材料となる葉も巻き方もオトシブミの種類によって違います。見つけたら観察してみてください。

写真・編集：晝間



小さなニホンアカガエル



ニホンアマガエル